

魅力あふれる公園づくり構想



1 魅力あふれる公園づくり構想の概要

1) 構想づくりの背景と目的

公園には、レクリエーションや地域コミュニティの場、防災、景観形成などの役割があるとともに、とりわけ山林などのまとまった緑が少ない本市にとって公園は、自然に親しむことができる身近な憩いの場として、重要な役割を果たしてきました。

また、近年では高齢化の進展により、公園は子どもから高齢者まで幅広い世代に渡って利用されており、従来の子どもの遊び場としての利用だけでなく、健康づくりの場としても活用されるようになりました。

これに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響などに伴い、テレワークや会議のオンライン化などの新たな働き方の定着により、自宅付近で過ごす時間が増え、身近な生活圏において充実した余暇や休息時間を過ごす場所が求められるなど、公園の担う役割は多様化し、更なる機能の充実や魅力の向上が求められています。

そこで、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに向けて、本市の公園のうち、魅力を発信することができ、周辺の状況から公園区域の拡張が可能な、洲原公園、岩ヶ池公園、総合運動公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみの5つの公園を対象に、それぞれの公園が持つ特徴をいかしつつ、誰もが行きたくくなるような魅力あふれる公園とするため、市民の方々からのご意見を取りまとめた将来構想を策定しました。

なお、本構想は、完了までの目標年次は設けないこととし、それぞれの公園の将来像を、全体のテーマとエリアごとの利活用のイメージを構想図などで示し、今後、整備を進める際の目指すべき姿とするものです。

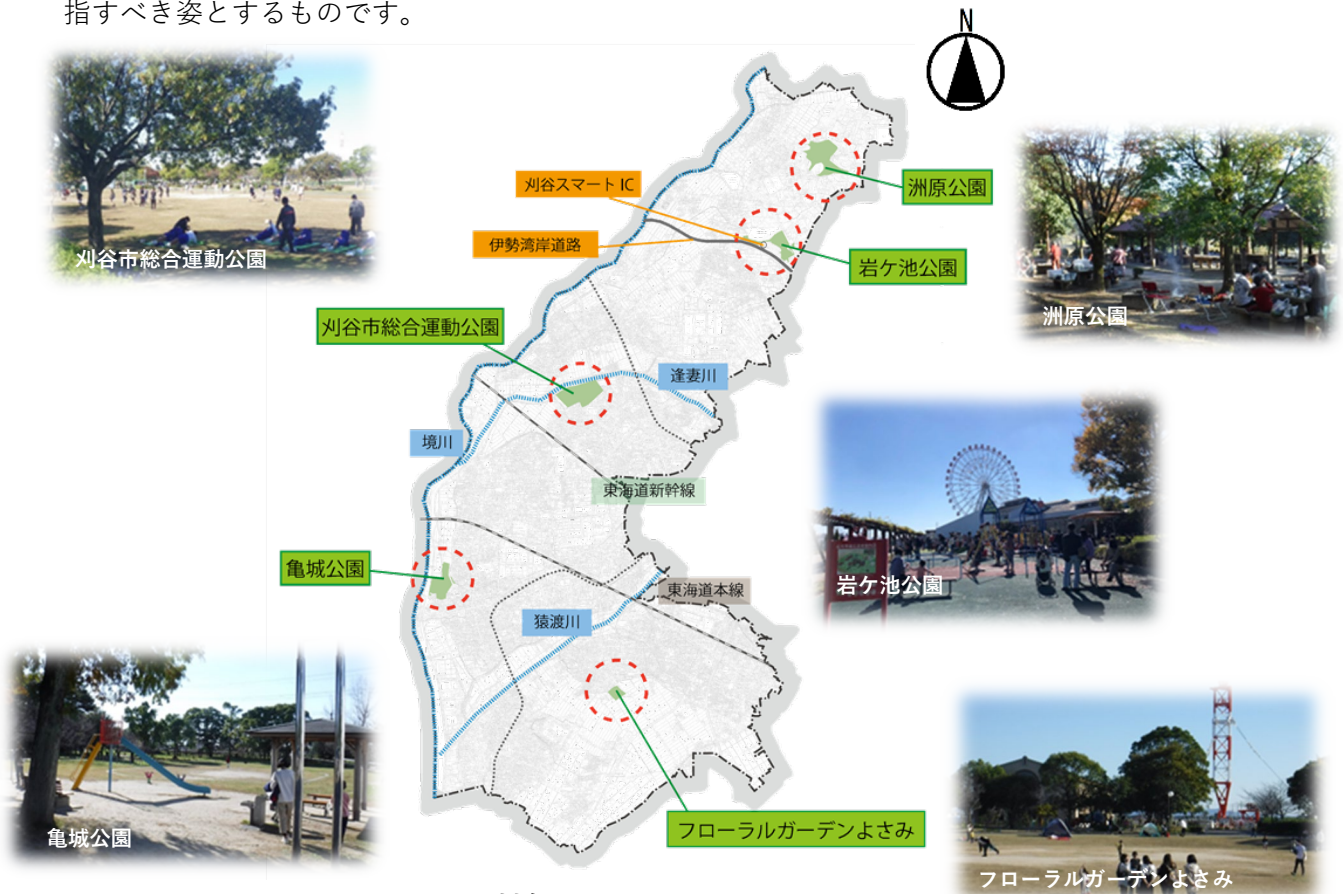


図 対象となる5つの公園

2) 構想の策定体制

まちづくりを視点に、構想の策定に向けた全体的な取組みについて、様々な立場・観点から助言をすることを目的として、学識経験者や各種団体、事業者の代表、関係機関の行政職員等で構成する『魅力あふれる公園づくり構想策定委員会』を設置しました。

また、5公園の「取り組むべき施策・事業アイデア」を具体的に提案し、将来構想の素案を策定することを目的として、地域住民や福祉団体、子育て団体、中学生、大学生、一般公募などで構成する『市民公園づくり会議』（ワークショップ）を設置しました。

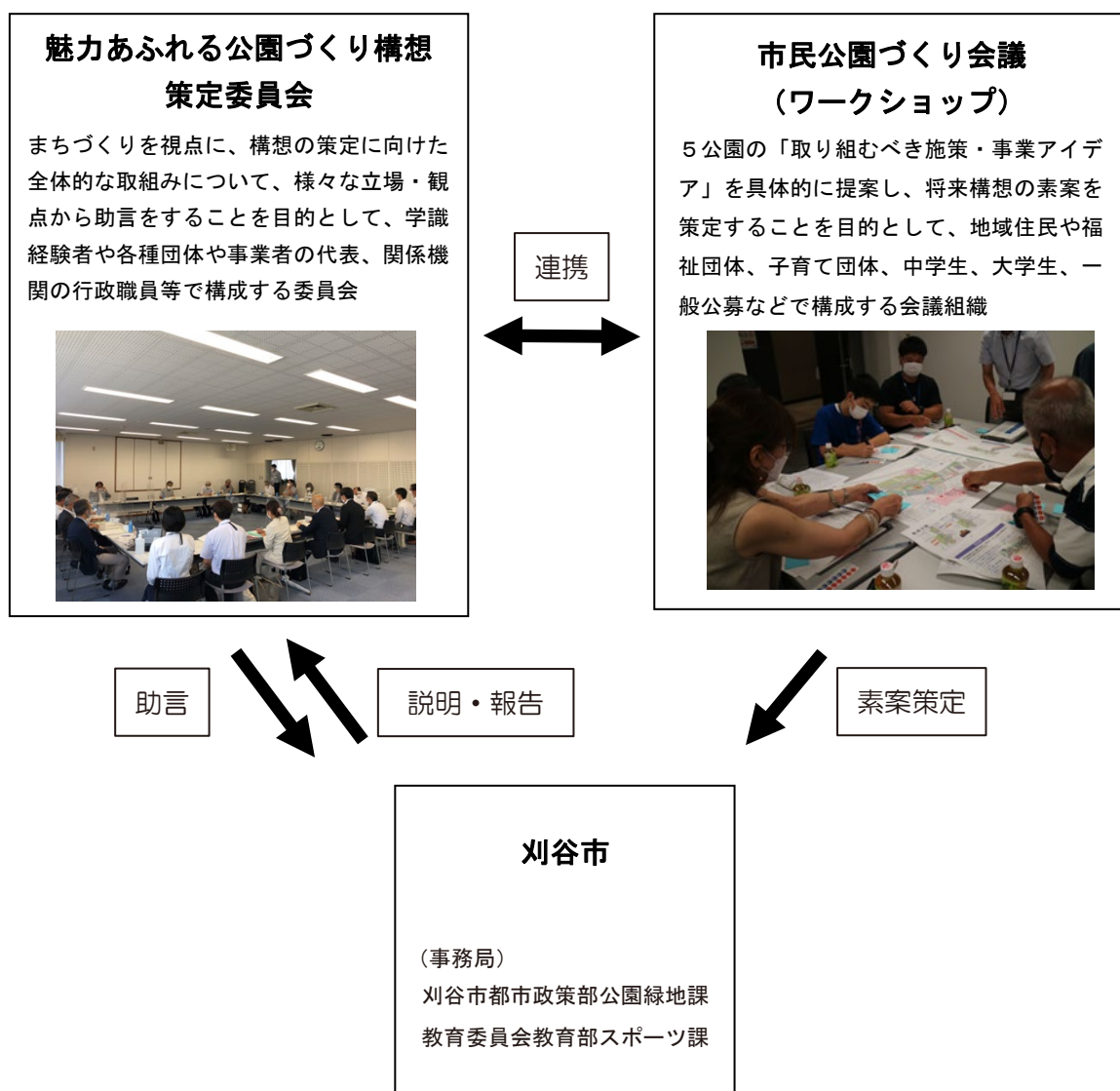


図 構想の策定体制

3) 構想策定の流れ

本構想の策定は、以下の流れで実施しました。

表 構想策定の流れ

		市民意見の聴取		各種会議等
		ワークショップ	その他の手法	
2021年度	8月			策定委員会（第1回）8/20
	9月			※構想策定の進め方について
	10月			
	11月	市民公園づくり会議	利用者アンケート 11/12,13	策定委員会（第2回）11/19
	12月	(第1回) 12/18	※公園の利用実態把握	※市民公園づくり会議の実施方法について
	1月	※公園とともにあるライフスタイルを考える		
2022年度	2月			
	3月	(第2回) 3/26		
	4月	※公園の「良いところ」「惜しいところ」		
	5月	(第3回) 4/23		
	6月	※公園でできたらいいと思う「もの」「こと」		
	7月	(第4回) 6/25		
	8月	※公園の将来ビジョンを描こう (第5回) 8/6		策定委員傍聴
	9月	※公園の将来ビジョンを発表	出張アンケート 9/2,4,9,10	※公園利用者の意見聴取
	10月	○構想(素案)作成 (第6回) 10/8		策定委員会（第3回）11/1
	11月	※構想案のとりまとめ		※市民公園づくり会議の結果について
	12月		パブリックコメント 12/1~1/4	構想（案）作成
	1月			策定委員会（第4回）1/27
2月			※パブリックコメントの結果について	
3月			構想とりまとめ	
構想の公表				

4) 魅力あふれる公園づくり構想策定委員会と市民公園づくり会議の概要

構想策定に向けて設置した「魅力あふれる公園づくり構想策定委員会」は計4回、「市民公園づくり会議」は計6回にわたって開催をしました。

(1) 魅力あふれる公園づくり構想策定委員会の概要

回数	日程	テーマ
第1回	2021年8月20日(金)	(1) 魅力あふれる公園づくり事業について (2) 市民の意見聴取方法や今後の進め方について (3) 5公園の特色と目指すべき公園像について
第2回	2021年11月19日(金)	(1) 市民公園づくり会議の実施概要について (2) 市民公園づくり会議の構成委員について (3) 公園利用者アンケートについて
第3回	2022年11月1日(火)	(1) 市民公園づくり会議の報告について (2) 今後の取組みについて
第4回	2023年1月27日(金)	(1) パブリックコメントにおける主な意見と市の考え方について

(2) 市民公園づくり会議の概要

回数	日程	テーマ
第1回	2021年12月8日(土)	PARK × LIFE ～公園とともにあるライフスタイルを考える～
第2回	2022年3月26日(土)	公園の“今”を考える ～公園の「良いところ」と「惜しいところ」～ ・公園利用者アンケート結果報告
第3回	2022年4月23日(土)	公園の“未来”を考える ～公園でできたら良いと思う「もの・こと」～
第4回	2022年6月25日(土)	公園の“未来”をカタチに ～公園の将来ビジョンを描こう～
第5回	2022年8月6日(土)	PARK × Vision (発表会) ～5つの公園の将来ビジョンを発表する～
第6回	2022年10月8日(土)	PARK × Concept ～5つの公園の構想(案)のとりまとめ～ ・出張アンケートの結果報告

5) 公園利用者アンケート

(1) 調査目的

公園利用者の公園に対する意識等を幅広く把握し、「魅力あふれる公園づくり構想」の策定のための資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

(2) アンケート調査実施概要

調査日	【平日】	【休日】
	2021年11月12日(金)	2021年11月13日(土)
洲原公園	138	146
岩ヶ池公園	287	340
刈谷市総合運動公園	234	222
亀城公園	78	116
フローラルガーデンよさみ	123	143
合計	860	967

6) 出張アンケート

(1) 調査目的

ワークショップの成果である「公園の構想素案」に対して、子育て世代や働き世代など、実際に公園を利用している意見を聴取するため、各公園に出向いて、出張アンケートを実施しました。

(2) アンケート調査実施概要

調査日	【平日】		【休日】	
	2022年9月2日(金)	2022年9月9日(金)	2022年9月4日(日)	2022年9月10日(土)
対象公園	・刈谷市総合運動公園 ・亀城公園 ・フローラルガーデンよさみ	・洲原公園 ・岩ヶ池公園	・刈谷市総合運動公園 ・亀城公園 ・フローラルガーデンよさみ	・洲原公園 ・岩ヶ池公園
洲原公園	36		59	
岩ヶ池公園	79		104	
刈谷市総合運動公園	50		49	
亀城公園	21		40	
フローラルガーデンよさみ	38		84	
合計	224		336	

2 5 公園の将来構想

1) 洲原公園

公園の将来像

自然とともに遊んで学べる！
SUHARA アウトドア・パーク

公園の未来

- 1) 自然の中で遊びを創造し、人とつながり心と体の成長が促されます。
- 2) 豊かな自然に囲まれてゆったり向き合える時間を過ごせます。
- 3) 大学や地域とのコラボにより、楽しみながら学べる機会が得られます。

桜広場・エリア

四季の花や桜の充実を図り、広場で季節ごとのイベントが楽しめるエリアです。

【利活用イメージ】

- 四季の花や桜を楽しむ家族で一年を通して賑わっています。
- 丘陵地をいかした遊具や広場で家族などだれもが一緒に遊んでいます。
- 大学と地域の方が一緒になってイベントを開催しています。など



キャンプフィールド・エリア

洲原ロッジのリニューアルやキャンプ場の機能を拡充し、体験農園や地元食材も楽しめるエリアです。

【利活用イメージ】

- 高齢者をはじめ、みんな一緒にロッジやテントに泊まって、一日中自然に囲まれた時間を過ごしています。
- 体験農園で収穫したもぎたてで新鮮なフルーツや野菜をバーベキューで味わったり、ジャムづくりの加工体験などを楽しんでいます。など



池の周遊コース
多くの市民が一年を通して利用する、池を周遊するコースです。
【利活用イメージ】
○ウォーキングやジョギングなど、多くの市民がそれぞれの楽しみ方で池を周遊しています。など

池の東西をつなぐ
2つのエリアをつなぐ動線です。
【利活用イメージ】
○小さな子も車いすの人も一緒になって、水上からの眺めを楽しんでいます。など

池（水面）の活用
洲原池の魅力的な水面を活用します。
【利活用イメージ】
○池を横断するジップラインで、上空から池や森の美しい風景を見ながら楽しんでいます。など

学びの森・エリア
水辺に活動拠点を配置し、豊かな自然をいかした楽しみながら学べるエリアです。
【利活用イメージ】
○大学生と子どもたちが木の実や葉などを使って遊びながら、お互いに学んでいます。
○カフェテラスでは、公園内で加工した物を販売したり、公園利用者や大学生などが、水辺の景色を楽しみながらくつろいでいます。など



岩ヶ池公園との連携
岩ヶ池公園とは連携を図り、緑道でつながっています。
【利活用イメージ】
○岩ヶ池公園までつながる緑道で散歩をして楽しんでいます。など

水辺の森・エリア
豊かな自然を活用し、のんびりと過ごすことができるエリアです。
【利活用イメージ】
○森や水辺を散策しながら、豊かな自然を満喫しています。
○静かな水辺では野鳥や水生植物を観察したり、ベンチでくつろぎながら、のんびりと過ごしています。



2) 岩ヶ池公園

公園の将来像

自然の中で PLAY&STAY

〔遊ぶ・泊まる・体験する〕

地域の森・エリア

岩ヶ池と周辺の自然環境を『地域の森』として、市民参加の森づくりをするエリアです。

【利活用イメージ】

- 環境学習や自然体験、森づくりの活動を通じて、子どもたちが生きいきと活動しています。
- 岩ヶ池の自然環境と風景を公園の大切な資源として残しながら、地域住民や事業者と一緒に、森づくりの活動をしています。など



(イメージ)

公園の未来

- 1) 刈谷市の『食・遊・泊』の拠点として、全国からの来訪者をもてなします。
- 2) 岩ヶ池周辺の自然環境を守りながら、自然の中で遊びと学びを体験しています。
- 3) 民間との連携を強化し、にぎわいと交流の絶えない公園づくりをしています。

森の中のステイ・エリア

宿泊施設を配置し、自然の中でくつろぎ、ゆっくり滞在できるエリアです。

【利活用イメージ】

- 手軽にラグジュアリーなキャンプをすることで、豊かでゆったりとした時間を過ごしています。
- 市外から刈谷を訪れた人が、この宿泊施設を拠点として、刈谷の市内観光を楽しんでいます。など



(イメージ)

池の周遊コース

岩ヶ池の景色をゆったり安全に楽しむことができる周遊コースです。

【利活用イメージ】

- ウォーキングやジョギング、散歩など、多くの市民が各々の楽しみ方で池を周遊しています。など

池の南北をつなぐ

だれもが池の岸辺を周遊できるように池の南北をつなぐ動線です。

【利活用イメージ】

- 小さな子どもも一緒に、水上からの眺めを楽しんでいます。など

ファミリー・エリア

雨の日も遊べる遊具や日陰で休める施設を配置し、快適に子育て世代が楽しむことができるエリアです。

【利活用イメージ】

- 小さな子どもをはじめ、みんなと一緒に屋内外にある魅力的な遊具で遊んでいます。
- 池を眺めながらゆっくり過ごすことができる水辺のカフェテラスは、若者たちのデートスポットとなっています。など



(イメージ)

交流・エリア

常に多くの人でにぎわい、人々の出会いと交流が生まれるエリアです。

【利活用イメージ】

- 地域の学生と連携し、地域を超えて、より多くの人と交流をしています。
- 多くの子どもたちが、楽しそうに水遊びをしています。など

洲原公園との連携

洲原公園とは連携を図り、緑道でつながっています。

【利活用イメージ】

- 洲原公園までつながる緑道で散歩を楽しんでいます。など



森と水の冒険・エリア

森をいかしたアクティブな遊具を配置し、幅広い世代と一緒に遊ぶことができるエリアです。

【利活用イメージ】

- 中高生や大学生が、自然をいかしたジップラインやツリークライミングなどで、アクティブに遊んでいます。
- 小さな子どもも家族と一緒に遊んで体験できるアドベンチャー遊具で楽しんでいます。など



(イメージ)

3) 刈谷市総合運動公園

公園の将来像

だれでも・いつでも・どこでも・いつまでも
Sports in Life

リバーサイド・エリア

逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリアです。

【利活用イメージ】

- 逢妻川を散歩する人、犬の散歩をする人、ジョギングする人がおり、リバーサイドステーションで豊かな眺めを楽しみながら休憩しています。
- 逢妻川では水遊び、河川敷ではサイクリングやライドアクティビティ（バギーなど）を楽しんでいます。など



(イメージ)

公園の未来

- 1) 多様な人が、いつでも手軽に体を動かせる公園機能が充実しています。
- 2) 逢妻川緑地ではレクリエーション活動が楽しめ、公園北側ではニュースポーツなどが体験できます。
- 3) 民間との連携により、朝から夜まで楽しめるスポーツライフを応援します。

+ (プラス) スポーツ・エリア

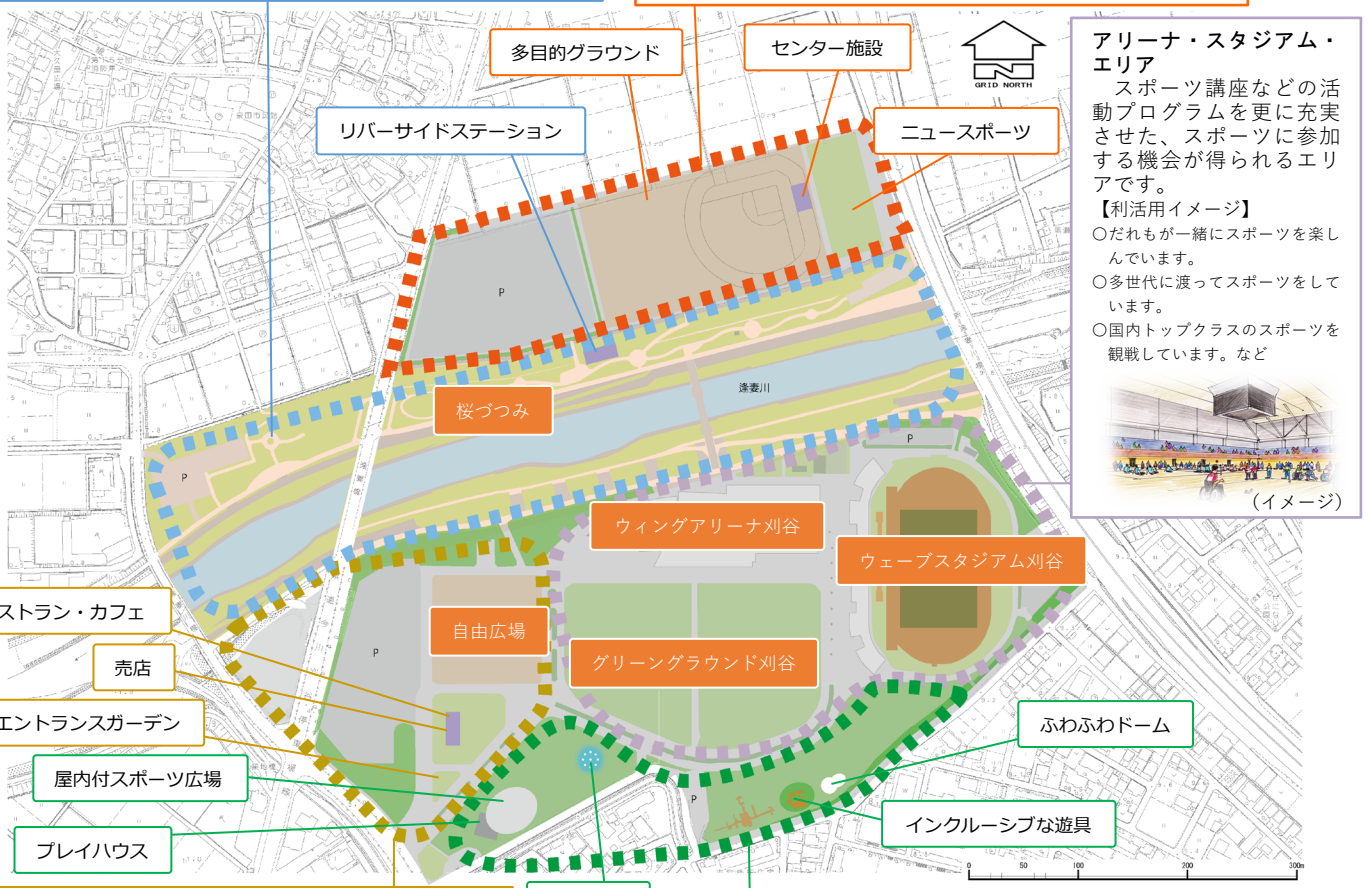
要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリアです。

【利活用イメージ】

- 未来のアスリートを目指して、子どもたちがスケートボードやボルダリングなどのニュースポーツをしています。
- だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。など



(イメージ)



アリーナ・スタジアム・エリア
スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリアです。

- ##### 【利活用イメージ】
- だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。
 - 多世代に渡ってスポーツをしています。
 - 国内トップクラスのスポーツを観戦しています。など



(イメージ)

エントランス・エリア

公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリアです。

【利活用イメージ】

- 美しいエントランスガーデンがあり、四季の花が咲いています。
- 公園駐車場に隣接して、レストランやカフェがあり、いつでも気軽に立ち寄れます。ホームチームのグッズやスポーツ用品のレンタルなどもあり、いつでも賑わっています。など



(イメージ)

グリーンフィールド・エリア

屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、だれでも一緒に体を動かして楽しめるエリアです。

【利活用イメージ】

- 車いすの子どもや運動が苦手な子どもも、だれもが一緒に元気に遊んでいます。
- 雨の日や、暑い日でも子どもたちが屋内施設で安心して遊んでいます。
- 広場では、特色のある遊具やそれぞれの楽しみ方でびのびと遊んでいます。など



(イメージ)

4) 亀城公園

公園の将来像

「刈谷の歴史を次世代に語りつなぐ」 シンボル公園

歴史体感・エリア

歴史博物館の持つ機能を拡充し、歴史をテーマとした遊具や飲食・物販施設がある歴史を体感できるエリアです。

【利活用イメージ】

- 歴史博物館では、刈谷の歴史や万燈祭などの文化について学んだり、体験しています。
- 飲食・物販施設では、ご当地グルメを家族でおいしそうに食べています。
- 歴史を感じさせる大型遊具や雨の日などでも遊べる屋内遊戯施設では、子どもも大人も一緒に遊び笑顔であふれています。など



(イメージ)

公園の未来

- 1) 石垣・隅櫓・堀等を復元し、刈谷の歴史と文化をつなぐシンボルとなる公園に生まれ変わります。
- 2) 四季の花や公園機能の充実により、一年中だれもが楽しめる公園になります。
- 3) 地域・民間・行政の連携により、地域と密着した安心・安全な公園づくりが進められています。



桜のみち
桜の名所である亀城公園のお堀沿いと、公園に接する道路は桜で彩られています。



(イメージ)

刈谷城址・エリア
刈谷城址としてふさわしい整備を行い、歴史と自然を感じながら一年中だれもが楽しめるエリアです。

【利活用イメージ】

- 石垣・隅櫓・堀の趣のある景色を眺めたり、十朋亭や野点(茶会)でくつろいでいます。
- 花や木々を見て四季を感じ、心を潤しています。
- 桜まつりや歴史をテーマとしたイベントが開催され、賑わっています。
- だれもと一緒に公園内を散策しています。
- ボランティア・ガイドの案内で、刈谷城や周辺の史跡を散策しています。



(イメージ)

5) フローラルガーデンよさみ

公園の将来像

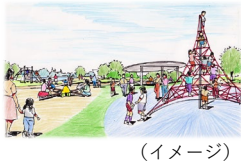
みんなでつくり運営する、
刈谷のよ・さ・み・りょく送信所！
(良さ+魅力=よさみ力)

あそびとつどい・エリア

遊具と広場の充実を図り、どの世代も安心して遊び集えるエリアです。

【利活用イメージ】

- 晴れた日も雨の日もさまざまな遊具で、子どもたちがみんな一緒に遊んでいます。
- テーブルに座って中高生が集まっておしゃべりしています。
- マルシェが開催され、多くの人々が訪れています。など



ガーデン・エリア

イングリッシュガーデンの充実を図り、だれもがリフレッシュできるエリアです。

【利活用イメージ】

- 香りの庭や音の庭、色の庭などの工夫を凝らしたガーデンがあり、だれもが楽しんでいます。
- ガーデンレストランやカフェでは、色とりどりの花や木々を見ながら豊かな時間を過ごしています。など



緑のみち

ミササガパークと刈谷駅とは緑のみちでつながっています。

【利活用イメージ】

- 健康づくりのために、ミササガパークとフローラルガーデンよさみを歩いて周遊する人がたくさんいます。など



ジョギング・ウォーキングコース
目的に応じて選ぶことができるジョギング・ウォーキングコースです。

【利活用イメージ】

- さまざまな年代の人が、ジョギングやウォーキングを楽しんでいます。
- コースの途中には、健康遊具でストレッチする人や、ベンチや阿四でゆっくり休む人がいます。

依佐美送信所・エリア

自然の中で遊べる施設の充実を図り、緑で囲まれた依佐美送信所記念館は、歴史を学び、体験することができるエリアです。

【利活用イメージ】

- 依佐美送信所記念館の展示を中心として、公園の各所で楽しみながら歴史を学び、体験することができます。
- 依佐美送信所記念館を囲む緑は、市民がつくり育てた緑であり、自然を体感できる創造的な遊び場として、だれもが一緒に楽しんでいます。



花の丘・エリア

花の回廊を配置し、四季の花々を楽しむことができるエリアです。

【利活用イメージ】

- 小高い丘では、四季の花を眺め、ゆったり過ごしています。
- 新たなフローラルガーデンよさみのシンボルエリアとなっています。
- 小高い丘から、公園内の美しい景色を見渡しています。



公園の未来

- 1) だれもが心身ともにリフレッシュできるイングリッシュガーデンが魅力です。
- 2) 依佐美送信所記念館で歴史を学び体験し、送信所から刈谷の魅力を発信しています。
- 3) 市民が安心できる居場所となるように、みんなで公園を育てています。

魅力あふれる公園づくり構想

発行 令和5年3月
発行者 刈谷市／編集 都市政策部公園緑地課
〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地
TEL：0566-62-1023 FAX：0566-23-9331
